

○ ナット	直径 4 mm用	1 本
○ 蝶ねじ	直径 4 mm用	2 本
○ 木工用ボンド		若干
○ 釘	20 mm	若干

木材は、よく乾燥したラワン板を購入し、ひきさいて角材にすると安価にできます。また、10 mm程度のベニヤ板でもよいのです。

なお、シート面に厚さ 2 mmの透明な塩化ビニール板をはりつけておけば、TPシートに星座を記録する作業がしやすくなります。

(2) 使用法

- ① 星座のよく観察できる場所へ、机のような台を設置し、その上に観測板をのせ、動かないように、しっかり固定する。
- ② シート面を目標の星座に正対するような位置、角度に固定する。
- ③ 観測孔からのぞいて星の位置を記録する。時刻を変えて観測するときは、ペンの色を変える。ペンは、水性では夜露で消えてしまうので、必ず油性を使うようにする。地平線の地形なども記録しておくようにする。
- ④ 時刻を変えて観測する時は、観測板の位置が変わらないように特に注意する。

(3) 北斗七星を中心にした北天の観測とその指導例

星座の観測は夜間になるため教師の手を離れて、家庭学習となります。そこに困難があり、なかなか徹底できません。そのため、事前指導をよく行って「星の観察をしてみたい」という意欲を持たせることが、たいせつです。

- ① 北斗七星を記録したTPシートをOHPで、できるだけ大きくスクリーンに投影し、その特徴や見つけ方を指導する。
- ② 傾き、方向、高さなどは星座早見盤で調べ、具体的に把握させるようにする。「〇〇時に、どの方向の、うでをのびした時目の高さのところに、こん



図- 77 観測板を使って星座の観測